

ローコスト経営について

利益計画書を作成する場合は経費を固定費と変動費に分ける作業をします。又は、なるべく固定費を変動費化する為の方法について考えます。

そして、売上分岐点を探しだして、目標とする売上高を算出します。

この利益計画は制度会計に定める収入と費用のバランスをとり、差引としての利益を求めるものです。

この考え方は間違いとは思いますが、この考え方には大きな勘違いがあります。

まず、制度会計の利益とは収入と費用の差額

その収入と費用は制度会計が定めたルールに基づいた認識によるものです。

しかし、資金会計理論の利益とは自由に使うことのできる現金と定義していますから、資金会計理論でいう利益計画とはすべての調達額からすべての運用額との差額を求めます。

従って、表題のローコスト経営は制度会計では費用をなるべく少なくする事と理解することができます。

しかし、資金会計理論でのローコスト経営とはすべての運用額を減らす事になります。(一部調達額についても)

会社を継続させる為には利益（自由に使える現金）が必要です。

これは企業を継続させる為の条件です。

その利益の定義が制度会計と資金会計理論とは大きく異なります。

社長は「制度会計の利益」と「資金会計理論の利益」どちらが本当の利益とお考えでしょうか。

「制度会計の利益は見解、現金は真実」

ある有名な企業の言葉です。

推薦図書：『会社にお金が残らない本当の理由』 著者 岡本 吏郎

：『ユダヤ人大富豪の教え』 著者 本田 健